



1学期終了! ご協力ありがとうございました。

今日で71日間の1学期が終了しました。教育計画が無事遂行できたのも、保護者の皆様のご協力があったることと、心から感謝申し上げます。

本日の終業式では、生徒に次のような話をしました。

* まず、4月に立てた目標の達成度合いを10点満点で自己採点してもらいました。

この1学期、全体としては落ち着いた生活を送ることができた。特に、3年生は最上級生としてすばらしい活躍。2年生・1年生の成長も十分に感じられた。しかし、残念ながら、全校生徒のすばらしい生活の流れに乗れず、落ち着いた生活、友達や学級を思いやる気持ちなどに個人差が見られる場面もあったような気がする。思うような生活ができなかった人は、夏休みを利用して考え方や生活を立て直し、2学期以降、確実に成長できるようにしてほしい。

先日、ネット接続に関するアンケートを行った。その結果に少々ショックを受けた。この表は、「どのくらいの時間、ネットに接続して使っているか」という質問の集計結果。

時間	1時間以内	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4時間以上
平日	17%	33%	25%	14%	11%
休日	6%	11%	24%	24%	35%

実は、昨年度の1学期の終業式にもこのような話をした。あえてもう一度同じ話をする。

次の表は、去年も示した、一昨年度の「全国学力・学習状況調査」の結果。上の段が平日に学習目的以外でネットを利用した時間、下の段は数学の正答率。

ネット利用時間	0	～1時間	～2時間	～3時間	～4時間	4時間～
数学の正答率	60%	60%	56%	50%	45%	39%

学習目的以外でネット利用をしない人の正答率は60%、4時間以上利用する人の正答率は39%。即ち統計的には、4時間以上利用する人は、全く利用しない人の「3分の2しか正解できていない」ということ。

また、とある国立大学の研究所からは、小中学生がネットを使いすぎると、脳の発達を損なって学力が低下すると調査・研究が公表されている。脳には「前頭葉」と呼ばれる思考力などに重要な働きをする部分がある。この前頭葉は小学校高学年から20歳頃にかけて特に発達するが、この時期にネットを使う時間が長いと、この前頭葉や記憶に関わる「海馬」と呼ばれる部分などの発達に悪影響があることが分かってきた。

現代社会において、ネットの利用は欠かすことができないもの。しかし、小・中学生がその使い方を間違えば、学習の大きな妨げとなる。ゲームや動画視聴の時間を減らすことが学力向上の大きな秘訣の1つであることは間違いない。もう一度、夏休みの目標や生活予定表を見つめ直してほしい。

1・2年生も、暇だから「YouTube」を見る、ゲームをするのではなくて、暇ならば読書しよう。次も全国学力・学習状況調査の結果の1つ。

読書について	読書が好きだ	読書が嫌いだ
数学の正答率	57%	44%

いよいよ明日から37日間の夏休み。8月26日の第2学期始業式には、規則正しい生活、夏休みの目標を達成する努力を通して、ひとまわり成長した皆さんに会えることを楽しみにしている。

いわき市教育委員会では、8月9日(金)から8月16日(金)までの8日間を市内小・中学校一斉に「学校閉庁日」と決めました。この期間は、原則として学校には校長・教頭はじめ職員は不在となります。また、部活動も実施いたしません。(全国大会出場等の例外はあります。)

また、この期間、学校の電話は留守番電話での対応となります。緊急時については、下の番号へダイヤルしてください。皆様のご理解とご協力をお願いします。

◆ 8/9～8/18 緊急時連絡先 080-3338-8300

1 学期の反省（各学年代表生徒から）

【 第 1 学年 】

1 年 1 組 洪井 琥斗

学習面では、授業に取り組む姿勢が良くなかったと思います。反省点が3つあります。1つ目は、2分前着席です。学級委員に呼びかけられても反応が遅い人が今だに多く、着席していてもムダ話をしていることが多く、話がそれて先生に注意されることが多く、そのせいで授業に集中できなかつたり、先生の説明が聞こえなかつたりすることがありました。これは級友の学習時間を奪ってしまうことなので、学級のみならず注意しなければいけない点です。

2つ目は、授業の準備物や宿題を忘れること、提出物の期限が守れないこと、提出物の回数を減らさなくてはならない点です。当たり前なことや、やるべきことをできる学級を目指したいです。

3つ目は、中間や期末テストに向けた学習計画とテスト勉強です。実際、計画を立てることに追われて、肝心のテスト勉強の中身が充実していません。

工夫して取り組んでいる級友を見習い、テスト前の計画をしっかり立てて勉強に対して意欲的に取り組める学級にしたいです。スタディタイムの期間は、取りかきを早くして、学年全体でも集中して取り組めるようにしていきたいです。

生活面では、給食の「30分いただきます」をおおむね達成できたことや移動教室の時に5分前行動を心がけ、廊下に早めに整列することができるようになってきました。これは、学級役員だけでなく、学習係が率先して呼びかけをしてくれているので達成できています。これからも、自分だけが気をつけるのではなく、集団生活を意識してよりよい生活を送ろうという気持ちを大切にしていきたいです。

また、朝や帰りの学活のあいさつ、授業の始めと終わりのあいさつは気持ちよくできていると思います。だんだん、心をあわせてあいさつすることができているので継続していきたいです。先輩から教えられた、あいさつの3Aを意識し、気持ちのよいあいさつができるよう、自分から積極的にあいさつをして、1年生全体に元気なあいさつの輪を広げていきたいです。

【 第 2 学年 】

2 年 1 組 谷 知里

2年生の1学期は、成長した点が2点、反省点が2点あります。

まず成長した点の1つ目は、「30分いただきます」です。去年は準備が遅く、間に合わなかったことが多かったのですが、今年は間に合う日が増えてきています。2学期は、毎日できるように意識していきたいです。

2つ目は「学年集会への移動」です。最初の頃は2・3回やり直しをしていましたが、そこからは落ち着いて移動ができています。しかし、普段の教室移動には生かされていません。注意されてもその時だけで、すぐにできなくなってしまいます。これからは、学年集会のように普段の移動もしてほしいです。

次に反省点です。とにかく落ち着きがありません。また、着席するべき時間に着席できていないことが多くなってきています。2学期にはまず落ち着いて過ごし、生徒同士が呼びかけ合って、改善して行きたいです。

2つ目の反省点は「登校時間」です。今年はGoGoSchoolの達成状況が悪いです。しかも、3学年の中でも2年生は特に悪いです。これについては、全員がGoGoSchoolの仕組みを理解することが大切です。また、服装についても、名札をつけるのを忘れていたり、ゼッケンをつけていない人が見られたりします。これは自分ログに書いたりしてひとりひとりの意識を高めていきたいです。

まだまだ課題はたくさんありますが、2年生の生徒みんなが課題に向き合い、少しずつでも改善できるように、まずは意識を持つことが必要です。2学期には、1学期よりもっといい学年になれるようにがんばって行きたいです。

【 第 3 学年 】

3 年 1 組 鈴木 心結

私たちが1学期を通して成長できた点は、「協力し合うこと」です。2泊3日の修学旅行では、たくさんの知らない土地に行きました。一番大変だった電車の乗り換えでは、お互いに「次降りるよ。」と声を掛け合うことで、一人も取り残すことなく移動することができました。5月の体育祭では、どの学級も勝利に向け、本気になって取り組むことができました。学級ダンスでは、去年からともに練習してきた仲間や先生方と楽しく踊り、行事を通して、学級・学年で協力し合うことができました。

一方、学年での反省点は3つあります。1つ目は、挨拶についてです。東中には、「明るく元気に・相手の目を見て・相手を考えて」という意味の『3A』という目標があります。昨年よりは、3Aを意識した挨拶ができるようになった人が増えましたが、まだ一部の人が出来ていません。伝統の挨拶を守るためにも、一人ひとりの挨拶が大切になります。今後は、規律委員で作成した3Aのポスターを掲示し、さらに挨拶の3Aを意識させます。

2つ目は、委員会に取り組む姿勢についてです。最高学年として後輩の手本となり、組織を引っ張っていかなければいけません。しかし、課題に目が向かず、改善できないまま1学期を終えてしまったように思います。1学期の反省点を全員で理解し、3年生が積極的に問題に立ち向かえるようにしましょう。

3つ目は、2分前学習についてです。2分前着席は、ほとんどの人が出来るようになりましたが、座ってから話す人が多くいるように感じます。東中のルールを全員が正しく守るようにしましょう。

いよいよ中学校最後の夏休みを迎え、中学校生活も3分の1を終えようとしています。1学期は、挨拶・委員会・学習の面で1つずつ課題が見つかりました。最高学年として、学校全体に目を配り、一人ひとりが時間を見て行動できるようにしましょう。そして、以前、校長先生がおっしゃっていた、「さらにグレードアップした東中」を作れるように、3学年の良さである、協力を生かして全員で頑張っていきたいと思います。